

散歩道

第147号 令和2年3月 発行 豊橋にしごち学園
豊橋市高師町字北原1-103 電話(0532)64-3596
URL <http://tf-jigyoukai.org/nishiguchi/>
E-mail nishiguchi@tf-jigyoukai.org

「園としてできること」

新型コロナウイルス感染症が拡大、その余波が福祉の現場にも大きな影響を与えています。行事開催の自粛、会議や研修会の中止など。なかでも日用品が不足し、消毒液や使い捨てマスクの入手が困難になり、利用者さん職員共に感染症の予防に支障が出ることとなりました。それは園内だけに限らず、地域でも同じことだと思います。

本園が地域の一員として何ができるか考えた結論は、自主製品のマスクをたくさん作り供給することでした。業者から材料の布やゴムを集め、幼児用、小学生用、大人用と量産体制、利用者さんはできることを積極的に取り組みました。材料を使い切るまで一生懸命に作り、取り組みの毎日。おかげさまで評判も上々、在庫もすぐになくなってしまう状態でした。

今後も利用者さんと共に、地域に貢献できることを考え、地域の一員としていきいきと活動したいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

園長 鈴木 隆朗

生活支援員

米村啓介



10年間お世話になったにしごち学園。利用者さんと毎日お話をし、歌、ダンスと楽しく過ごしました。4月からは新しい場所で仕事をさせていただくことになりました。これからも楽しい日々を送りたいと思います。ありがとうございました。

主任生活支援員

鈴木佳保里



1年間という短い間でしたが、お世話になりました。自立を目指した活動をもっと取り入れていきたいと考えていたので、残念ですが、これからは「木もれ陽」でみなさんの生活をサポートしていきます。訪問の際は気軽に声をかけてください。

退職職員紹介

生活支援員

川合辰徳



近隣の方々や、多くの支援者とお会いする機会が多く地域とのつながりを身近に感じました。その地域から愛されるにしごち学園で利用者さんの笑顔と「できる」の発見が毎日の楽しみでした。3年間という短い間でしたが、本当にありがとうございました。

生活支援員

鈴木麻見



田植え招待・畑作業や野菜販売など利用者さんと一緒に楽しく体験することができ、とても貴重な経験ができました。毎日、元気よく登園できることを願っています。お世話になりました。

異動職員紹介

あかね班

こはく班

自分で選んだ作業を頑張って取り組むことができました。自活では利用者さん一人ひとりの希望を聞き、買い物やお菓子作りなどを経験し、楽しみました。楽しく1年を過ごすことができました。

今年のこはく班は、たくさんの笑顔が見られました。活動では、自分の得意なことを頑張りつつ、新しいことに挑戦するなど、今まで以上に一人ひとりの可能性を感じられた1年でした。

一年の振り返り

新しい班でのスタートでしたが、歩行や作業に取り組むことができました。また、公共交通機関を利用するこことや、作品作りなど新たな取り組みもできました。楽しく1年を過ごすことができました。

自活やわくわくデーは、利用者さん一人ひとりが思いを伝え、一緒に考える時間を多く作りました。皆さんのが活動に見通しを持てるよう意識することで、毎日の作業や歩行にもより楽しく取り組むことができました。

しおん班

わかば班

利用者作品展



豊橋信用金庫岩西支店様のご厚意で、本園の利用者作品展を開催しました。

3月9日（月）から19日（木）まで、利用者の作品や製品を展示し、地域の方々に鑑賞して頂きました。

ありがとう



コーナー

《ご寄付》

音羽山観音寺様 花王（株）様 （株）宙だよりスタジオ様 （株）みかわ大黒堂様
杉本屋製菓（株）様 千賀商店様 東三河郵便局長婦人会様 田中美佐枝様 豊信建設（株）様
村井幸代様 森様 吉田竹伊様

《ボランティア》

足立久子様 NTTOB. くすの木の会様 久曾神まつ枝様 村井幸代様
若川京子様

